



子育て世代の「欲しい」を詰め込んだオリジナルバッグ

ハンズのパパ・ママ社員の声から生まれた、家族みんなで使える新提案バッグ「be with fam bag」を紹介します。



★はじめは…

ハンズの社員の半数以上は女性であること、男女ともに子育て経験のある人が多いことから、世間のニーズに合ったハンズらしいバッグをつくれるのではないか？という意見が出ました。「マザーズバッグ」という言葉はかなり定着していますが、男性が使えるデザインの子育て用バッグはまだ少ないと思われ、女性だけでなく男性の社員も交え、約1年かけて開発しました。



コンセプト

パパもママも家族みんなで使えて、子どもが大きくなってからもシチュエーション問わずに使えるバッグ。



発売後、アイデアがどんどん挙がってきて第二弾が誕生。第一弾のよさは引き継ぎつつ、家族で長く愛用できるように工夫しました。

第一弾



第一弾「ヘルスニットプロダクト×ハンズ be with fam bag」 12,000円(税込)
2022年6月発売。在庫限りで販売終了。



ハンディファンも収まるサイドポケット。高さがあるから折り畳み傘や哺乳瓶も入る。

こだわりポイント



男性でも持ちやすいようにアウトドアテイストを盛り込んだデザイン。型崩れもしにくい。



抱っこ紐をつけたままリュックを下ろせるバックル付き



バッグを開けなくてもウェットティッシュをさっと取り出せるポケット。



背面の片側にファスナーポケット。リュックを前持ちした時にスマホなどをすぐに取り出すことができる。

第二弾



第二弾「ヘルスニットプロダクト×ハンズ be with fam bag トートリュック」 9,800円(税込) 2024年2月発売



大きくなったサイドポケット。内側のポリエステル生地を出せるので汚れを落としやすい。



ぱっと見た時に「ここにはコレを入れておこう!」と判断しやすい造り。哺乳瓶やペットボトル500mLサイズを2本入れられる大きさ。

もっとタウンユースなデザインに。トートバッグとしても使えて、年齢も性別も服装も問わず、さまざまなシーンで使える。



店舗情報は4面をご覧ください。

ハンズ横浜店で
実物を手に取ってみよう!

第一弾で好評だったウェットティッシュ入れはこちら。



子育てにも使える!アウトドア用品

両手が開く・機能性・汚れが落ちやすい・軽くて丈夫・重さを分散させるデザインなど、アウトドアブランドのバッグは長持ちするし子育て期にもぴったり! MARK IS みなとみらい 1階にあるアウトドアショップでおすすめをお聞きしました。*値段は税込です。



mont-bell

登山などアウトドア活動はもちろん、旅行や日々の生活も快適に過ごすことができるウエアやギアを多数そろえる日本発のブランドです。本格的でありながら初心者向けの商品もたくさん。キッズ用も充実しています!カラフル!軽い!多機能!



<http://www.montbell.jp/>



ポケットブルデイパック 20
4,840円
パック全体を内ポケットに収納できる軽量コンパクト設計のデイパック。旅行やキャンプのサブザックとして、手軽に使えます。



U.L.MONO ショルダー M 2,750円

手のひらにすっぽりと収まる超軽量ショルダーバッグです。救急セットや貴重品などを入れるのに便利です。

THE NORTH FACE

アウトドアで培った機能性に高いファッション性を融合。バッグやウエアなどシンプルでシックな色使いのものも多く、おしゃれな人に選ばれています。タウンユースで持ちやすいです。



<http://www.goldwin.co.jp/tnf/>



メトロスケープトート 27,500円

頑丈、シンプル、肩にかけたままさっとアクセスできるスリットポケットを始め多彩なポケットがある大容量のトートバッグ。ちょっとした旅にもつかえそう。



ママの健康応援プロジェクト

ベイ★キッズとシュフレ協会コラボ企画ママの健康を応援する情報をお届けします。



上手な検診の受け方 ②



Q. いつ検診をうけるのがいいの?

A. 身近な血縁者(親や兄弟姉妹など)に乳がんを罹った人がいる場合には、乳がんの発症リスクが高くなると言われています。該当する人は早めの検診スタートを! 乳腺が張っているため生理前1週間を受診を避けましょう。



監修: ママのがん検診顧問
産婦人科専門医 早乙女智子

Q. どこで検診をうけたらいいの?

A. がん検診の最大の資料となるのは、過去の自分のデータです。過去のデータと照らし合わせて変化がないかをみることで、より正確な検査結果を導くことができます。可能であれば前年のデータと比較してみてください。適切なところを選びましょう。石灰化など指摘されたときは、次の検診を受けるための記録を残しておき、次の検診時に必ず伝えることがとても大切です。

授乳中でも検診は受けられます

授乳中は乳腺が発達して高濃度乳房になっていることと、乳汁が出る可能性があるため授乳が終わってから来るように言われることがあります。しかし授乳中でも乳がんにならないわけではありません。授乳中でも検査可能な病院はありますので諦めずに探してみましょう。

ママの がん 検診
応援プロジェクト



子どもと一緒に受診できる
検診の最新情報はこちら!

